

令和4年度予算の主な事業

第12回（2月）定例会で可決された令和4年度予算の中から、主な事業を紹介します。

香陵公園周辺 整備事業

予算額
65億4,180万円

アリーナ・武道場・多目的スタジオなど市民のスポーツや健康づくりの拠点として様々な機能を備えた新総合体育館について、令和5年1月のオープンを目指し整備を進めるものです。



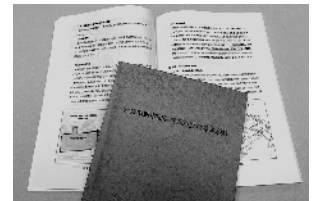
東側から見た
◀外観イメージ図

整備が進む
新総合体育館▶



中間処理施設 整備事業

予算額
1億300万円



▲基本設計に基づき整備を進めます

新たな中間処理施設の整備・運営等を担う事業者の選定に向け、実施方針等の作成業務に着手するとともに、建設用地の整備に向けた構造物等詳細設計や各種調査を引き続き行うものです。

公共交通 ネットワーク 形成事業

予算額
2,900万円



▲沼津駅前に設置された
デジタルサイネージ

「沼津市地域公共交通計画」に基づき、沼津港へのデジタルサイネージ設置など公共交通の利便性向上及び利用促進に向けた取組を実施するものです。

戸田松城邸 保存修復事業

予算額
1,070万円



▲松城家住宅を一般公開します

国指定重要文化財である松城家住宅の一般公開に向けた準備を進めるとともに、オープン記念講演の開催等を通じて地域文化の振興と活用を図るほか、公開後の施設の維持管理を行うものです。

子どもの居場所づくり コーディネート事業

予算額
470万円



▲子ども食堂等による子どもの
居場所づくりを支援します

子ども食堂などの開設や運営に関する相談窓口を設置し、市民が主体となって運営する子どもの居場所づくりのための情報提供や支援を行うものです。

1次産品販路拡大 戦略推進事業

予算額
429万円



▲県外に向け、本市農水産品の
PRに取り組みます

本市1次産品の活性化に向け、県外でのテストマーケティングの実施など、農業・水産業・商業の連携により新たなブランド化や販路拡大に取り組むものです。

市制100周年 記念事業

予算額
300万円



▲市制100周年に向けた
PRを行います

令和5年度に迎える市制100周年に向けて、ロゴマークやキャッチフレーズを活用したPRなどにより、シビックプライド及び機運の醸成を図るものです。